

溢れ札 11.1.2

【解説】

「溢れ札」は単純な神経衰弱です。『アブレフダ』と読んで下さい。

万能のJoker 1 枚を含んだ53枚のカードを使うので、最後に 1 枚だけカードが余ります。

1 人遊び若しくは人間とコンピュータの 2～5 人対戦で遊ぶ事ができます。

コンピュータ側は特にAIと言う程の高度な事はしていません。単に過去に開いたカードを覚えているだけで、強さの差はどのくらい遡って覚えているかだけです。

「最弱」は、過去の状態を全く覚えずにランダムにカードを開きます。

「最強」は、多分殆ど全ての状況を覚えています。

これは記憶力の勝負で、状況をどれだけ覚えていられるかが大きく影響して、記憶力が互角ならば運の要素が大きいです。

また、多人数で遊ぶ際、直前の手番に強い人が居ると、その人に全部持っていかれてしまい不利になります。

最低限の機能だけで作っていて、勝敗の判定は遊ぶ人に任せています。成績記録もしていないので、適当に気楽に遊んでください。

標準のカードには「M's FREECELL」用に作ったデザインを流用しました。

文字だけを大きく描いたカードデザインに切り替えることも可能で、こちらの方が見やすく使いやすいと思います。

初版では空白だったカードは11.1.0からJokerになっています。

【操作】

画面下中央の「始」ボタンを押すとゲーム開始します。

基本操作は、開きたいカードクリックするだけです。

画面右下の「？」ボタンを押すと詳細の説明が表示されます。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

【インストール】

「溢れ札」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「溢れ札」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従ってください。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「溢れ札」は、Unity2020.3.42f1で作成されています。

【バージョン履歴】

2022.11.24 11.1.2

ゲームの説明表示の不都合修正
マウスポインタ表示の変更
内部処理の調整

2022.05.08 11.1.1

アプリケーションアイコンの変更
内部処理の調整

2022.03.26 11.1.0

空白カードをJokerに変更
画面デザインの微調整
内部処理の調整

2022.01.20 11.0.0

初版

2022.11.24 竹内 (Macの変人) 喜代志